Fukasawa, H. — Notes on the egg-sac of *Synaema globosa japonica* Karsch.

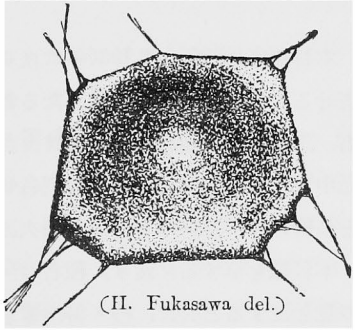
フノジグモの卵嚢に就いて

深　澤　治　男

東京市荏原區小山町7

〔昭和11年10月3日受領〕

昭和11年8月14日，予は山梨縣南巨摩郡靜川村に於て，或る卵嚢と其母體を採集，最近岸田久吉先生に御同定を願ひし所，フノジグモ *Synaema globosa japonica* Karsch で其卵嚢に就ては文獻にないとの由であつた。故に此所に簡單なる報文を記述する。


(H. Fukasawa del.)

〔實物大寫眞〕

産卵されてゐた場所は山蘆の茂の中で母體は卵嚢にへばりついて番をしてゐた。痩こけて見る目も哀な姿であつた。

構造及其他　三枚の葉の間は糸でかゝげられ，中に四つの釣手を持つた卵嚢（白色）がある。大きさは寫眞と同大で，卵嚢の厚さは約8粍，48匹の仔を收めてゐた。

標本保存の手落から以上の事實しか觀察出來なかつたのは遺憾の至りである。

終りに本文を草するに當り，標本の御査定を煩した岸田久吉先生に紙上乍ら謹んで深甚の謝意を表します。（昭和11. 10. 2. 稿）